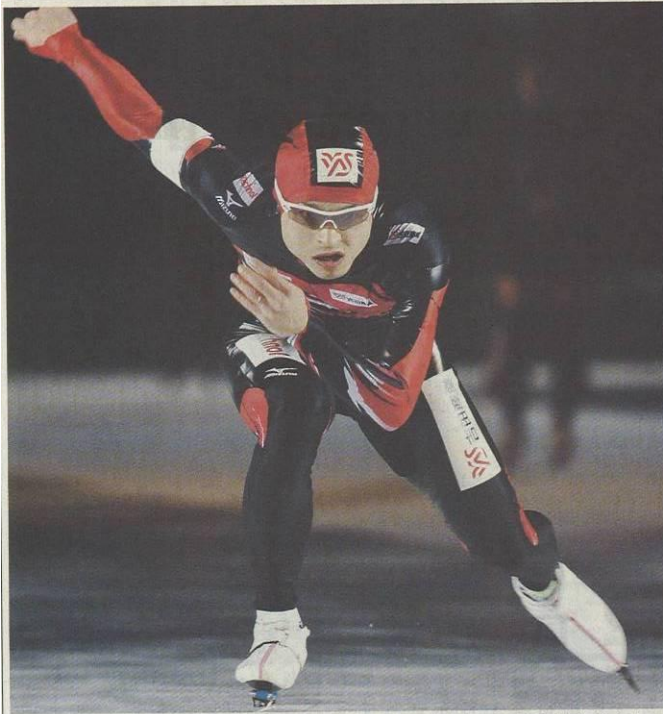


松尾(吉田産業) V 4 通算5度目 大会最多タイ



【スプリント男子500m 2回目】38秒04で2位。総合では4連覇を果たした松尾和明(吉田産業)＝長根リンク

女子は丹波(光星)初優勝

ジュニア毛利(根城)ジュニア西山(八戸)

スピード

青森県スプリント 県ジュニアスプリント

スピードスケートの第38回は2種目で安定した力を発回青森県スプリント選手権、第31回県ジュニアスプリント選手権最終日は28日、八戸市長根リンクで5日、4年連続の栄冠を手に00秒と1000mの2回目を制し、大会最多タイ記録となった。スプリント男子で、大会最多タイ記録とな

った。女子は、1000mで得意を繰り出した丹波紫葉(光星)が初優勝を飾った。ジュニアスプリントでは、男子の毛利和太郎(根城中)と女子の西山夢乃(八戸二中)が、前目を完全4種目を制して完全優勝を果たした。毛利は2連覇、西山は初の頂点に輝いた。

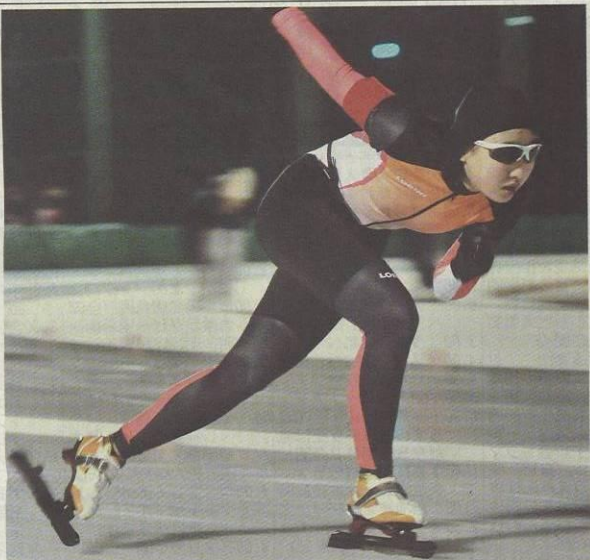
午後4時半競技開始時のリンクコンディションは天候小雪、北の風0.2m/s、気温0度、水温マイナス7.5度。結婚に花添える勝利

松尾和明(吉田産業)が5度目の頂点に立ち、大会最多タイに並んだ。ラッキ

1年優勝ではあるけれど、狙っていました。大会最多優勝が目にと、早くも来年のV4を宣言した。「レースにつき25%の力で滑る」という、ベテランならではのレース運び。1日目の500m、最終日ベストをマーク。最終日も

1000mでさらに自己ベストを更新する快走だった。「98点の出来。得意の1000mで練習通りの滑りが良かった」と満足そうに話した。一方、前回優勝の宮崎は、今季は調子が上がり切っておらず総合2位。「優勝できなかったことより、500mで負けたことが悔しい」と残念がっていた。

1000mは好タイムで1位になり「今大会で、こんないい滑りができるとは、満足顔だった。先日1日に結婚したばかり」と喜んでた。



【ジュニアスプリント女子1000m 2回目】1分33秒37の自己新をマークし、全4種目で1位の完全優勝した西山夢乃(八戸二中)

ジュニアスプリント最終日記録

500m ①松尾和明(吉田産業)38秒04 ②毛利和太郎(根城中)38秒08 ③丹波紫葉(光星)38秒12 ④西山夢乃(八戸二中)38秒15

自己ベストで快走 ○ジュニアスプリント 女子の西山夢乃(八戸二中)は、500mが得意な中、同じ中学2年の宮崎瑠南(八戸台田)を下して完全優勝。1500mは勝てないと思っていたがうしろ力で滑るといふ、ベテランならではのレース運び。1日目の500m、最終日ベストをマーク。最終日も